

# 「マーケットの浅読み・深読み」

発行・編集:FXニュースレター

執筆担当:斎藤登美夫



◆◆◆ No.0711 ◆◆◆

22/11/02

## 【 11 月は「ドル高有利」の傾向、3 カ月連続高値更新!? 】

先日終了した 10 月相場のドル/円相場は、月間変動幅が 8.41 円となった。非常に大きな値動きだが、先月もレポートしたように、今年に限れば 3 月以降の平均月間変動はおよそ 8 円。それからすると、ほぼ今年平均程度の変動にとどまったと言えるのかもしれない。

なお、改めて指摘するまでもなく 10 月にドル/円は一時 151.94 円まで上昇し、1990 年 7 月以来の高値を示現しているが、そんなドル高基調が今月も続くかに注目。過去の経験則からすると、11 月相場は「月間を通してドル高有利の傾向」一があるだけに気になるところだ。3 カ月連続でドルは高値更新も!?

### ◎11 月はニュースの観点も要注意、「もはや何があっても不思議なし」か

為替市場関係者のあいだでも、よく取り沙汰される話として、「年末にかけてドル高進行しやすい」一というモノがある。これは需給要因からも、ある程度説明付けられ、そのひとつとされるのは海外勢による「12 月末本決算をにらんだ『リパトリエーション(本国送金)』の活発化」だ。

もちろん、この話自体は間違っていないのだが、実を言うと 12 月よりも 11 月にドルは堅調推移することが多く、12 月は「そのおぼれを頂戴する」といった程度の動意にとどまる展開が少なくない。そうした意味で、本当に「ドル高要注意」なのは、12 月ではなく 11 月とも言えるだろう。

実際、過去の 11 月相場を振り返ってみた場合、1990 年以降昨年まで 32 年間の勝敗は 20 勝 12 敗。勝率にして 6 割強、3 回に 2 回近くはドル高に振れていることが事実として確認されている。今年も年始からすでに 35 円以上と、すでにかなりのドル高・円安が進行しているうえ、150 円レベルが「ドル高シーリング」と目されることは気掛かりだが、足もと一服しているドル高の再燃。151.94 円という年初来高値の更新を期待する声も決して少なくない。

また、そんな 11 月のドル/円相場には、もうひとつ「月間の変動幅そのものが比較的大きい」という特徴がうかがえる。典型例は 2016 年で、11 月の月間変動幅はなんと 13.36 円。ぶっちぎりの年間 1 位となる大変動だった。

そのほか 2014 年は月間変動幅 6.41 円で同 2 位、2013 年は 5.01 円で同 5 位、2010 年は 4.18 円で同 5 位、2009 年は 6.51 円で同 5 位、2008 年は 7.01 円で同 4 位、2007 年は 8.71 円で同 1 位一などとなっている。とくに 2000 年以降は、総じて大きな価格変動をたどっていることは注目に値するポイントだろう。先でも指摘したように、今年 3 月以降のドル/円相場は月間変動幅が平均 8 円以上となっているだけに、同程度の動きが続くとしても単純計算で 155 円程度までのドル高進行があっても不思議はないのだが果たして!?

一方、過去の 11 月をニュースの観点から調べてみると、世界的に見て政治的な大事件が少なくない。一例を挙げると「徳川慶喜が大政奉還上奏(1867 年)」や「ロシアの十月革命(1917 年)」「第一次世界大戦が終結(1918 年)」「原敬首相が刺殺される(1921 年)」「ケネディ米大統領暗殺(1963 年)」「ベルリンの壁崩壊(1989 年)」一などがある。

幸か不幸か、昨今の世界情勢を振り返ってみると、もはや何が起こっても不思議はない。実際、劣勢が伝えられるロシアがウクライナ戦争で核使用に踏み切ることを危険視する声も根強い。北朝鮮による核実験実施思惑もくすぶったまま。また、中国・習国家主席 3 期目続投で「台湾侵攻」が確実に速まったといった見方も取り沙汰されるようになってきた。さらに、今年も日本で安倍元首相が銃撃され死亡したというショッキングな出来事があったが、先日は米国でペロシ下院議長の自宅が襲撃され、夫が大怪我を負うという痛ましい出来事も起こっている。足もと 11 月は予断を許さない 1 カ月になる気もしないではない。(了)



当レターは、情報提供のみを目的としたものです。内容に関して正確であるよう注意を払っておりますが、その正確性を保証することはできません。投資や運用にあたっての最終的な判断は、あくまで読者自身の責任と判断によって、ご利用いただくようお願い申し上げます。また、本稿の無断転載・転送もご遠慮ください。

なお、本稿に関する問い合わせは『FXニュースレター』までお願い致します。

